



平成20年3月5日

航海訓練所第7回研究発表会の開催について

航海訓練所は、従来から、実船による航海訓練の機会を活かせる独自性を踏まえた研究を実施してきました。このたび、今年度の研究成果を皆様に報告するとともに、研究成果の普及・活用促進を図ることを目的として、「第7回研究発表会」を開催しますのでお知らせします。

1. 日 時：平成20年3月25日（火） 10:00～16:30
2. 会 場：神奈川県横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎（別添案内図参照）
 - 第1会場 1階 共用第1会議室
 - 第2会場 1階 共用第2会議室
3. 内 容：航海訓練の手法、船舶の運航技術、その他海技及び海事に関する研究成果を26件発表します。
（発表者、発表時間、題名等の詳細については、別添プログラム参照）
4. 来 聴：当日は自由に来聴できます。また、入場無料・事前申込みは不要です。
5. そ の 他：報道関係者におかれましては、当日の取材が可能です。
取材をご希望される場合には、会社名、氏名、連絡先を平成20年3月19日（水）までに下記「問い合わせ先」までご連絡下さい。

【配布先】国土交通省交通運輸記者会、神奈川県政記者クラブ

◆問い合わせ先

独立行政法人航海訓練所 教育部研究課
担当：今（こん） 電話：045-211-7310



独立行政法人 航海訓練所

第7回 研究発表会

日時 2008年3月25日(火) 10:00~16:30

会場 横浜第2合同庁舎1階 共用第1会議室(第1会場)
共用第2会議室(第2会場)

入場無料・事前申込み不要

● 会場案内

横浜市中区北仲通5-57

○みなとみらい線

馬車道駅(4番出口)から徒歩1分

○JR, 横浜市営地下鉄

桜木町駅から徒歩10分

<駐車制限のため車での来場はご遠慮下さい>

● お問い合わせ先

独立行政法人 航海訓練所

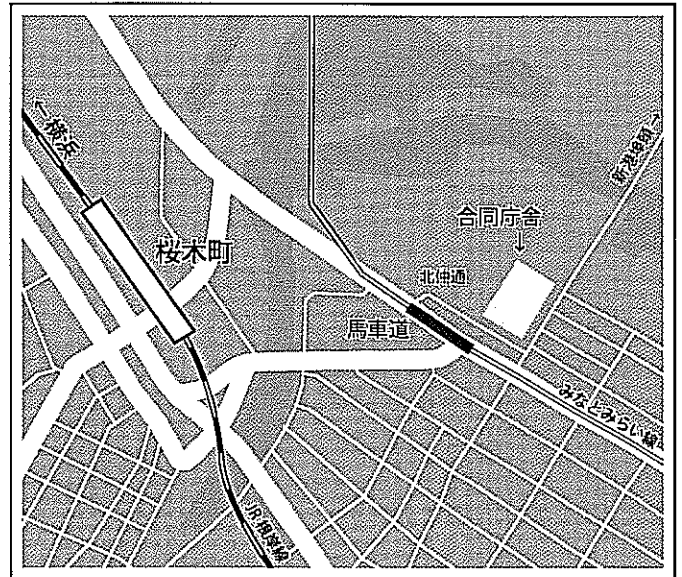
教育部 研究課

TEL : 045-211-7313

FAX : 045-211-7317

<http://www.kohkun.go.jp>

e-mail : mail@kohkun.go.jp



ご挨拶

日頃より当所の業務をご理解、ご支援いただきありがとうございます。

昭和39年より行ってまいりました研究発表会も、独立行政法人として7回を数えるに至りました。今回行う26件の研究発表は、当所の教官が船舶運航と航海訓練を行いながら、まとめ上げたものでございます。

内容としましては、我が国の外航海運を担う外国人船員を対象とした新たな航海訓練をはじめ、内航海運を支える6級海技士のコース、帆船の運航技術や国際協力等、当所業務の一端が垣間見えるものが中心です。

皆様お誘い合わせのうえ、是非ご来聴下さい。

航海訓練所理事長

湯本 宏



第7回 独立行政法人 航海訓練所 研究発表会 プログラム

会場	時間	題名	発表者・所属
第1会場	10:00～	研究発表会開催の挨拶 研究業績表彰	理事長 湯本 宏
	航海訓練の方法		司会 機関科長 光延秀夫
	10:10～10:30	フィリピンにおける船員教育と当所練習船教育	國枝 佳明(銀河丸)
	10:35～10:55	青雲丸におけるMAAP及び大学短期実習生の航海訓練について	森 勇介(青雲丸)
	11:00～11:20	Maritime Academy of Asia and the Pacific機関科実習生に対する実習訓練について	中村 哲(青雲丸)
	11:25～11:45	青雲丸における六級航海専修の航海訓練について	五島 聖司(青雲丸)
	11:50～12:10	六級航海専修実習生の内航即戦力に向けた取組み —実習生主体当直の実施—	吉田 英亮(大成丸)
	昼 休 み		
	船舶の運航技術		司会 航海科長 斎藤重信
	共用第1会議室	13:00～13:20	大型帆船の展帆基準について
13:25～13:45		海王丸の各種旋回性能について	須賀 達彦(予備船員)
13:50～14:10		大型帆船の帆走性能に関する研究 —テルテルによる可視化実験—	長洲 光司(日本丸)
14:15～14:35		船陸間マルチメディア通信の効率化に関する調査研究 —練習船動静把握システムの構築について—	藤井 肇(銀河丸)
14:40～15:00		操船者の情報処理システムに基づく避航行動	竹本 孝弘(大成丸)
休 憩			
その他海技及び海事		司会 教務課長 阪根靖彦	
15:15～15:35		船舶における環境保護規制の動向(NOX,SOX,PM)	今 吾一(本 所)
15:40～16:00		諸外国における海難審判制度について	阪本 義治(本 所)
16:05～16:25		船員教育分野での国際協力について —現状と今後の動向—	多田 恭祐(本 所)
16:30～	研究発表会閉会の挨拶	理事 岡野良成	

会場	時間	題名	発表者・所属
第2会場	船舶の運航技術		司会 教育企画課長 竹井義晴
	10:10～10:30	銀河丸オーシャン・シリングラダーの性能	阿部明日美(銀河丸)
	10:35～10:55	シリングラダーとフラップラダーとの舵効の検証に関する研究 —後進による舵効の違い—第2報	猪俣 活人(本 所)
	11:00～11:20	銀河丸低速時の操船性能 —出入港時の実操船から—	國枝 佳明(銀河丸)
	11:25～11:45	船底汚損による船速の変化に関する一考察	伊東 正人(青雲丸)
	11:50～12:10	機関プラントの保全計画に関する研究 —補助ボイラスロットリング亀裂—	角 真紀(日本丸)
	昼 休 み		
	航海訓練の方法		司会 研究課長 須藤信行
	13:00～13:20	蒸気タービン練習船の有用性	惠美 裕(大成丸)
	13:25～13:45	揚投錨操船実習における評価について —評価シートを用いた評価手法について—	貝塚 友規(日本丸)
13:50～14:10	練習船実習訓練における口述試験による成績評価の試み(機関科三級)	足立 直陽(海王丸)	
14:15～14:35	オンボード型操船シミュレータを活用した実習訓練	小屋野 晶(銀河丸)	
14:40～15:00	保安応急実習訓練の新たな試みについて —模擬操練の実施について—	山岸 拓央(予備船員)	
休 憩			
航海訓練の方法			
15:15～15:35	東京湾航行に関する視聴覚教材の開発について	川上 徳人(大成丸)	
その他海技及び海事			
15:40～16:00	災害防止対策としての不安全行動要因評価の試行結果について	横田 隆一(海王丸)	
16:05～16:25	船内における救急患者搬送法の確立	水溜 青雲(大成丸)	